

リスク機会	カテゴリ	内容	全体		エンブラ事業		アセチル事業		セイフティ事業		対応
			4℃	1.5/2℃	4℃	1.5/2℃	4℃	1.5/2℃	4℃	1.5/2℃	
移行リスク	政策・法規制	炭素価格(税)の導入・強化により、操業コストが上昇	●●	●●●	●●	●●●	●	●●●	●	●●●	GHG排出量削減目標(2018年度比総量50%減)実現に向けた活動推進 ICP導入によるリスクの定量化
		炭素価格(税)の導入・強化により、上流取引先のコスト増が価格転嫁され、調達コストが上昇	●●	●●●	●●	●●●	●	●●●	●	●●●	サプライヤーと協働でGHG排出原単位削減を推進することで影響を低減 低GHG原材料への切り替え
		欧州炭素国境調整措置など、各国の炭素排出目標・政策による温室効果ガス排出の規制強化	●●	●	●●	●	-	-	●	-	GHG排出量削減目標(2018年度比総量50%減)実現に向けた活動推進 省エネ、低GHG原材料への切り替え、調達先を変更
	市場	低炭素社会実現に向け、石化由来原材料などの価格変動	●●●	-	●●	●	●●●	-	●	-	在庫管理の最適化 複数購買化、処方による原料シンプル化、製造技術向上による品質均一化の推進
	技術	省エネ、生産性向上のための設備投資コストの増加	●●	-	●●	-	●●	-	-	-	処方設計・テクニカルサービスの技術・ノウハウ開発を加速することでリスクを解決
	評判	気候変動に対するリスク・機会の特定とその対応、環境経営に関する情報開示要求の高まり	●	-	●	-	-	-	-	-	環境対応に関する体制・仕組み強化 変化する社会の要求に合わせた環境関連の情報開示を継続
物理リスク	慢性/急性	異常気象による災害の激甚化(豪雨、洪水、台風)による、操業停止や原材料、製品の損傷 サプライチェーンの停止	●	-	●	-	●	-	●	-	気候変動に対するBCP強化
	慢性	平均気温の上昇による、労働条件の悪化や感染症蔓延	-	-	-	-	-	-	-	-	継続的な職場環境の改善
移行機会	市場	環境配慮型製品など新規市場拡大(生分解性プラスチック、EV、再エネ、リサイクル、水資源保護)	●●●	-	●●	-	●●●	-	●●	-	リサイクルビジネス(リコンパウンディング事業)の開発 低GHG製品の開発(CCU技術活用、バイオ原料製品開発) 酢酸セルロース機能化、新規ファイナセルロース開発、BIC ^{※1} 案件事業化 EV向け電流遮断装置の市場開拓 CycloVia ^{※2} の運用
	資源の効率性	省エネ、生産性向上による操業コストの削減	●●●	-	●●●	-	●●●	-	●	-	ダイセル独自の生産革新手法、自律型生産システム導入
その他低減活動 ^{※3}			●●	●●●	●●	●●●	●	●●●	●	●●	

(影響度) ●●●…百億円以上、●●…数十億円、●…十億円以下、-…ほとんど影響なし

※1 バイオマシノベーションセンター…バイオマス資源の原料化に取り組む当社部門 ※2 CycloVia…社内認定制度である「循環型社会構築への貢献認定制度」の制度名

※3 その他低減活動…GHG排出量50%削減(スコープ1、2)のための投資、GHG排出量削減による炭素価格の影響を低減、低GHG原材料への転換、サプライチェーン全体の低減活動など